

宮崎県経済の動き

(平成17年10～12月期)

目 次

1	総	論	-----	1	
2	各	論	-----	3	
3	資	料	編	-----	8

平成18年4月

宮崎県総合政策本部統計調査課

1 総論

本県の経済は、生産は一部に高い水準の業種もあり、生産活動全体としては好調であった。消費は底堅く推移しているものの、雇用は依然として厳しい状況にある。投資や企業関連も同様に依然厳しい状況にある。景気は、引き続き足踏み感があるものの、緩やかな回復に向けた動きがみられる。

各分野の動きを見ると、生産活動は、「食料品・たばこ工業」が高い水準を維持するとともに、「電子部品・デバイス工業」が大きく増加したため、全体としては好調であった。大口電力使用量は、前年同期を上回った。

消費関連は、前年同期を下回った指標が多かったが、その減少幅は小さく、消費自体は底堅く推移している。

雇用情勢は、有効求人倍率が前期を上回ったが、その上昇幅は小さく、また新規求人数が引き続き前年同期を下回っており、全体として緩やかな改善の動きがみられるものの、依然厳しい状況にある。

投資関連は、新設住宅着工戸数が好調であったものの、公共工事請負件数、請負金額ともに前年同期を下回るなど、依然低調に推移した。

企業関連も、企業倒産件数、負債額が前年同期を上回り、依然厳しい状況にある。

○主な経済指標

下段：「単位」の欄に注釈のある項目を除き、前年同期比(%)

分野	指標	単位	H16 IV	H17 I	H17 II	H17 III	H17 IV
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	(H12=100) ※ 前期比	102.3 △ 5.2	99.0 △ 3.3	99.9 0.9	98.9 △ 1.0	105.7 6.9
	鉱工業在庫指数 (季節調整値)	(H12=100) ※ 前期比	93.2 0.1	97.2 4.3	100.5 3.4	105.2 4.7	105.9 0.7
	大口電力使用量	千kwh	457,975 1.3	438,308 1.2	474,129 △ 4.0	475,962 3.6	501,011 9.4
消費	大型小売店 販売額	百万円	25,534 △ 3.1	22,406 △ 3.1	22,213 2.8	22,673 3.3	26,459 3.6
	新車登録台数	台	6,933 1.6	8,766 0.9	6,800 12.3	7,581 5.4	6,864 △ 1.0
	新車届出台数	台	6,099 1.0	7,941 △ 1.3	6,406 2.6	6,663 4.1	6,354 4.2
	航空便 利用客数(乗)	人	384,371 △ 2.1	404,699 △ 2.1	362,927 1.4	403,126 2.7	379,922 △ 1.2
	航空便 利用客数(降)	人	405,069 △ 2.3	381,240 △ 1.0	359,531 2.0	403,737 3.0	403,110 △ 0.5
	主要ホテル・ 旅館宿泊客数	人	311,242 13.6	306,581 3.7	254,214 △ 1.0	315,820 5.8	283,606 △ 8.9
	消費者物価指数 (総合指数)	(H12=100)	98.5 0.6	97.6 0.0	97.6 △ 0.2	97.4 △ 0.8	97.4 △ 1.1
雇用・労働	有効求人倍率 (季節調整値)	倍 ※前期差:ポイント	0.63 0.00	0.63 0.00	0.62 △ 0.01	0.58 △ 0.04	0.59 0.01
	新規求人数	人	18,312 9.6	20,001 13.7	16,721 0.8	17,216 △ 9.1	17,557 △ 4.1
投資	新設住宅着工 戸数	件	2,110 △ 4.2	1,478 △ 9.6	1,929 △ 0.5	2,179 △ 7.3	2,223 5.4
	公共工事請負 金額	百万円	55,559 △ 13.6	57,792 41.3	30,170 △ 20.1	46,973 △ 28.7	51,633 △ 7.1
企業・金融	企業倒産件数	件	23 △ 20.7	16 △ 48.4	27 35.0	21 △ 16.0	24 4.3
	企業倒産負債額	百万円	2,622 △ 51.1	10,316 188.4	6,661 114.0	4,337 △ 35.7	3,390 29.3

○前回（平成17年7～9月期）からの変更点

	前 回	今 回
期 間	平成17年7～9月期	平成17年10～12月期
総 論	本県の経済は、生産は一部に増加の動きがみられるものの、生産活動全体としては微減となった。消費は持ち直しの動きがみられるものの、雇用は持ち直しの動きに一服感がみられ、投資や企業関連も依然厳しい状況にある。景気は、持ち直しの動きに引き続き足踏み感がみられる。	本県の経済は、生産は一部に高い水準の業種もあり、生産活動全体としては好調であった。消費は底堅く推移しているものの、雇用は依然として厳しい状況にある。投資や企業関連も同様に依然厳しい状況にある。景気は、引き続き足踏み感があるものの、緩やかな回復に向けた動きがみられる。
生産関連	生産活動は、一部に増加の動きがみられるものの、全体としては微減となった。	生産活動は、好調であった。
消費関連	消費関連は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。	消費関連は、前年同期を下回った指標が多いものの、底堅く推移している。
雇用・労働関連	雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられ、依然厳しい状況にある。	雇用情勢は、全体として緩やかな改善の動きがみられるものの、依然厳しい状況にある。
投資関連	投資関連は、低調に推移した。	投資関連は、新設住宅着工戸数が好調であったものの、依然低調に推移した。
企業・金融関連	企業・金融関連は、企業倒産件数及び負債額が前年同期を下回ったものの、依然厳しい状況にある。	企業・金融関連は、依然厳しい状況にある。

2 各論

(1) 生産関連

鋳工業生産指数、鋳工業出荷指数（3-1表）は、ともに前期を上回った。

ウェイトの高い業種別に生産指数（2-1表）の推移を見ると、「電子部品・デバイス工業」が前期を大きく上回り、また「食料品・たばこ工業」も高い水準のまま推移しているため、総合指数としては前期を上回った。

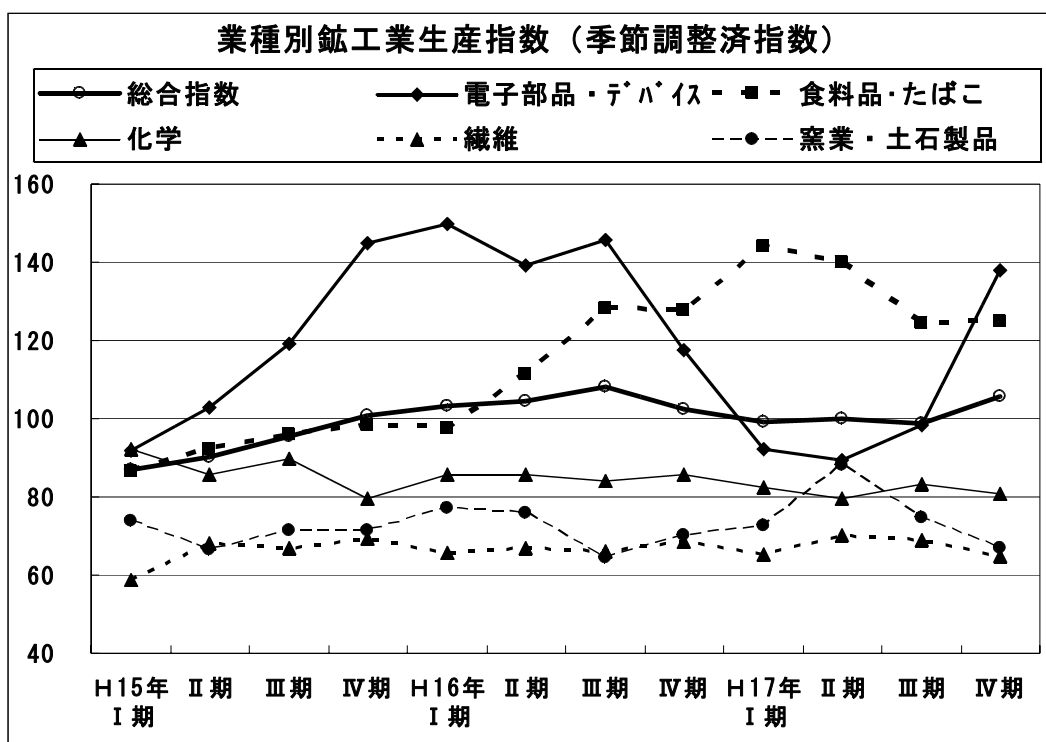
鋳工業在庫指数（3-1表）は、前期をやや上回った。

在庫循環の推移を示す在庫循環図（2-2表）で見ると、「在庫積み上がり局面」となった。

大口電力使用量（3-2表）は、2期連続で前年同期を上回った。

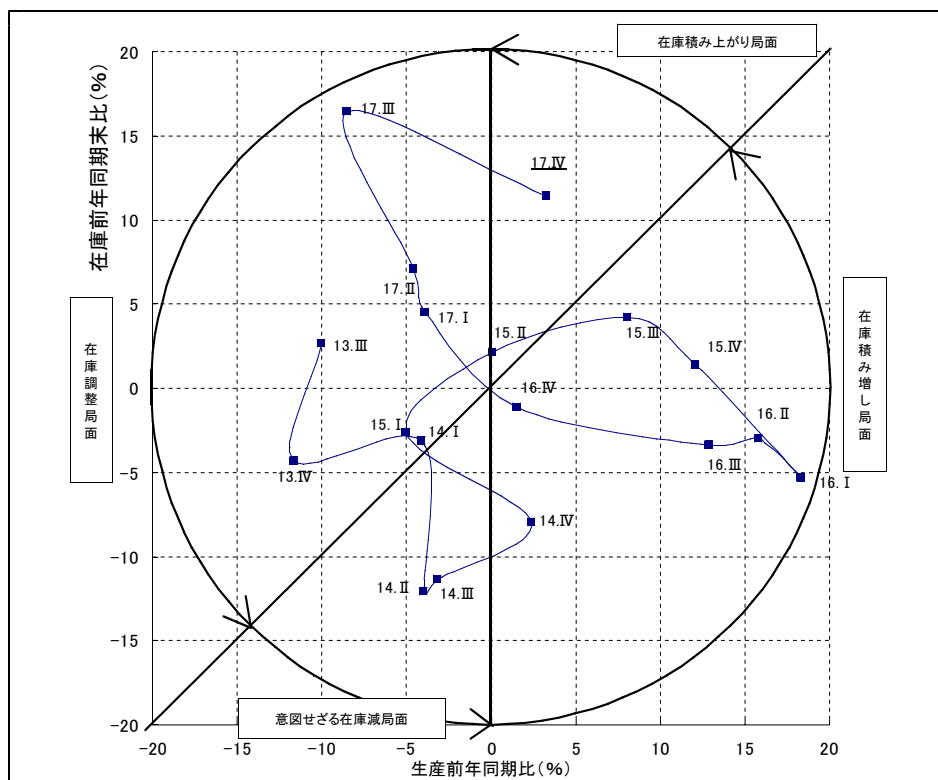
生産活動は、好調であった。

○主な業種別鋳工業生産指数（季節調整済指数）（平成12年=100）（2-1表）



○在庫循環図

(2-2表)



※1 生産前年同期比、在庫前年同期末比は原指数で算出。

※2 在庫前年同期末比は、昨年と今年の各3、6、9、12月を比較。

○在庫循環図

在庫循環図は、生産指数の伸び率と在庫指数の伸び率を利用して、在庫循環の4段階を示した図である。

○在庫循環図が示す4段階

I 意図せざる在庫減局面【景気回復初期局面】

生産、在庫ともに縮小で、かつ生産より在庫の方がより縮小している状態である。

II 在庫積み増し局面【景気回復局面】

生産を増加させて在庫を積み増していくが、在庫の伸びは生産の伸びを上回ることがない状態である。

III 在庫積み上がり局面【景気減速局面】

生産はなおも増加基調であり、その生産の増加率を上回って在庫が増加していく状態である。

IV 在庫調整局面【景気低迷局面】

生産は減少に転じ、在庫水準を下げていく状態である。

(2) 消費関連

大型小売店販売額（3－3表）は前年同期を上回ったものの、既存店どうしの比較では前年同期を下回った。

新車登録台数（3－4表）は、前年同期を下回った。

新車届出台数（3－4表）は、3期連続で前年同期を上回った。

航空便利用客数（3－5表）は、乗客数が前年同期を下回り、降客数も前年同期をやや下回った。

主要ホテル・旅館宿泊客数（3－6表）は、前年同期を下回った。

消費者物価指数（宮崎市）（3－7表）は、総合指数が3期連続で前年同期を下回り、生鮮食品を除く総合指数も3期連続で前年同期をやや下回った。

消費関連は、前年同期を下回った指標が多いものの、底堅く推移している。

(3) 雇用・労働関連

有効求人倍率（3－8表）は、前期を上回った。また、全国の完全失業率（3－8表）は、前期を上回った。

新規求職申込件数（3－9表）は、前年同期をやや上回った。

新規求人数（3－9表）は、2期連続で前年同期を下回った。

実質賃金指数（きまって支給する給与）（3－10表）は、前年同期をやや上回り、総実労働時間指数、所定外労働時間指数（3－10表）は、前年同期を上回った。また、常用雇用指数（3－10表）は、前年同期とほぼ横ばいとなった。

雇用情勢は、全体として緩やかな改善の動きがみられるものの、依然厳しい状況にある。

(4) 投資関連

新設住宅着工戸数（3－11表）は、前年同期を上回った。

公共工事請負件数（3－12表）は、当期、年度累計ともに前年同期を下回った。また、公共工事請負金額（3－12表）は、当期、年度累計ともに前年同期を下回った。

投資関連は、新設住宅着工戸数が好調であったものの、依然低調に推移した。

(5) 企業・金融関連

企業倒産件数（3－13表）は前年同期を上回り、また、負債額（3－13表）も前年同期を大きく上回った。

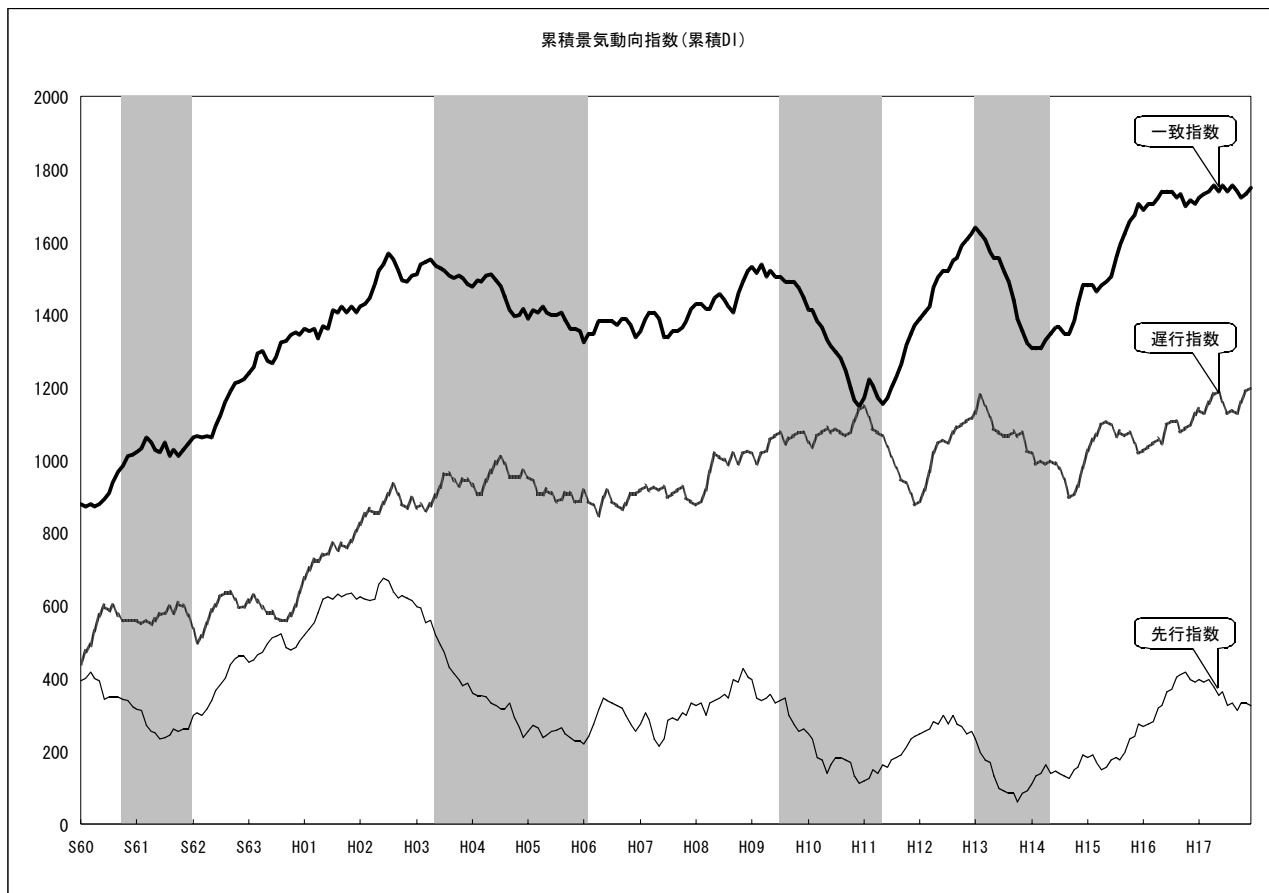
金融機関預金残高（3－14表）は、前年同期をやや上回った。また、金融機関貸出金残高（3－15表）は、前年同期とほぼ横ばいであった。

企業・金融関連は、依然厳しい状況にある。

○景気動向指数

累積景気動向指数（2-3表）は、一致指数が緩やかな上昇傾向となっている。

（2-3表）



○景気動向指数

- 1 複数の経済指標の変化（伸び率は関係ない）を合成し、数値化したものである。
- 2 景気動向指数は、景気の方角性を示すものであり、その数値の大きさは、景気変動の大きさを示すものではない。
- 3 景気動向指数には、景気に先行して動く「先行指数」、ほぼ一致して動く「一致指数」、遅れて動く「遅行指数」の3種類がある。

○累積景気動向指数（累積DI）

- 1 景気動向指数（DI）の月々の値を累積したものが、累積景気動向指数（累積DI）である。
 - ◆ 今月の累積DI = 前月の累積DI + (今月のDI - 50)
- 2 累積DIには、景気の動きと連動する性質があるため、景気の動きを視覚的にとらえやすいという利点がある。

なお、本県の景気後退期は、
 昭和60年10月～昭和61年12月、平成3年5月～平成6年1月、平成9年7月～平成11年4月
 平成13年1月～平成14年4月
 である。

< 資 料 編 >

3 経済指標の動き

生産関連

(1) 鉱工業指数(平成12年=100:季節調整済指数)

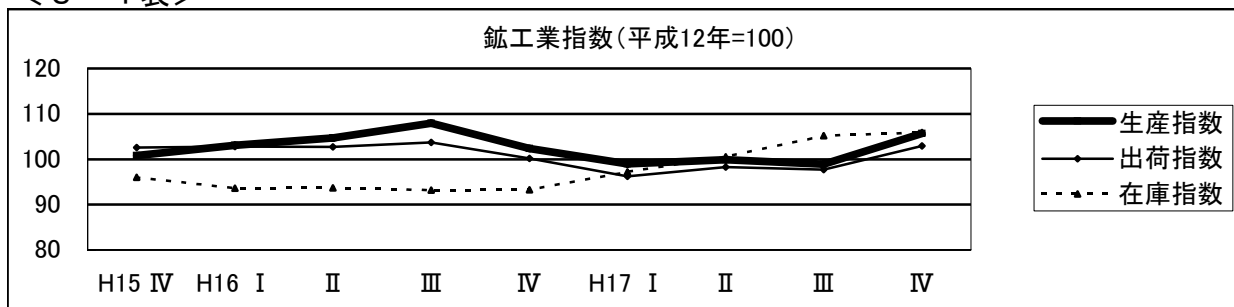
- 生産指数は、前期を上回った。
- 出荷指数は、前期を上回った。
- 在庫指数は、前期をやや上回った。

平成12年=100 単位：%

	生産指数		出荷指数		在庫指数	
	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
H15 IV	100.8	5.3	102.6	6.7	96.0	▲ 1.1
H16 I	103.1	2.2	102.8	0.2	93.6	▲ 2.5
II	104.7	1.6	102.7	▲ 0.1	93.7	0.1
III	108.0	3.2	103.7	1.0	93.2	▲ 0.5
IV	102.3	▲ 5.2	100.2	▲ 3.4	93.2	0.1
H17 I	99.0	▲ 3.3	96.2	▲ 4.0	97.2	4.3
II	99.9	0.9	98.3	2.2	100.5	3.4
III	98.9	▲ 1.0	97.7	▲ 0.6	105.2	4.7
IV	105.7	6.9	102.9	5.3	105.9	0.7

(資料：県統計調査課)

< 3-1 表 >



(2) 大口電力使用量

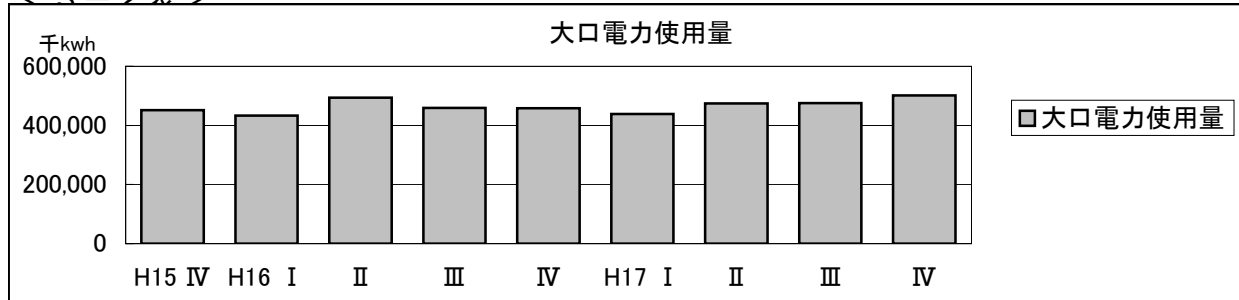
- 大口電力使用量は、2期連続で前年同期を上回った。

単位：千kwh、%

	大口電力使用量	
	前年同期比	前年同期比
H15 IV	451,896	5.3
H16 I	433,228	8.4
II	493,823	18.9
III	459,534	8.4
IV	457,975	1.3
H17 I	438,308	1.2
II	474,129	▲ 4.0
III	475,962	3.6
IV	501,011	9.4

(資料：九州電力(株)宮崎支店)

< 3-2 表 >



消費関連

(3) 大型小売店販売額（百貨店、スーパー 計29店舗）

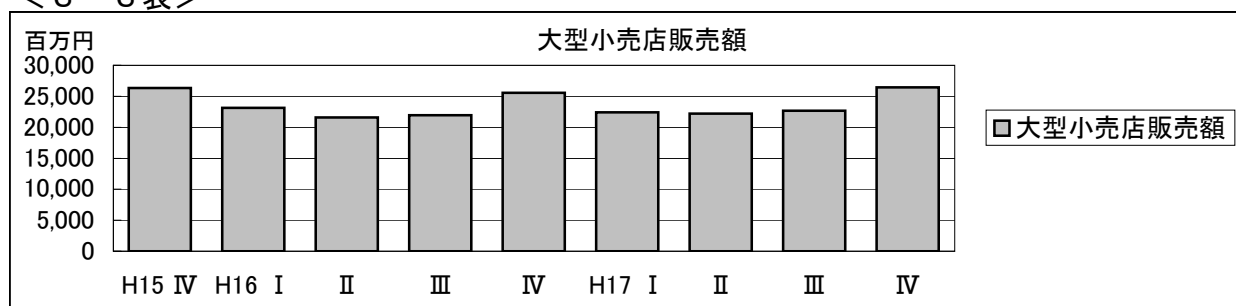
○大型小売店販売額は前年同期を上回ったものの、既存店どうしの比較では前年同期を下回った。

単位：百万円、%

	衣料品	飲食料品	その他	計	前年同期比	
						既存店
H15 IV	10,046	8,592	7,706	26,344	4.8	▲ 7.8
H16 I	9,352	7,038	6,732	23,122	4.4	▲ 6.4
II	8,714	6,429	6,463	21,606	▲ 5.2	▲ 8.2
III	7,848	7,426	6,680	21,954	▲ 5.6	▲ 5.3
IV	9,633	8,054	7,847	25,534	▲ 3.1	▲ 3.1
H17 I	9,104	6,386	6,916	22,406	▲ 3.1	▲ 2.9
II	8,648	6,274	7,290	22,213	2.8	▲ 1.9
III	7,673	7,808	7,192	22,673	3.3	▲ 6.2
IV	9,962	8,358	8,139	26,459	3.6	▲ 3.5

（資料：経済産業省）

< 3-3表 >



※ 百貨店及びスーパーとは、従業者50人以上の小売事業所のうち、次に該当するものである。

- (1) 百貨店：日本標準産業分類の百貨店(541)のうち、次のスーパーに該当しない事業所であって、かつ売場面積が1,500m²以上の事業所
- (2) スーパー：売場面積の50%以上について、セルフサービス方式を採用している事業所であって、かつ売場面積が1,500m²以上の事業所

(4) 新車登録・届出台数

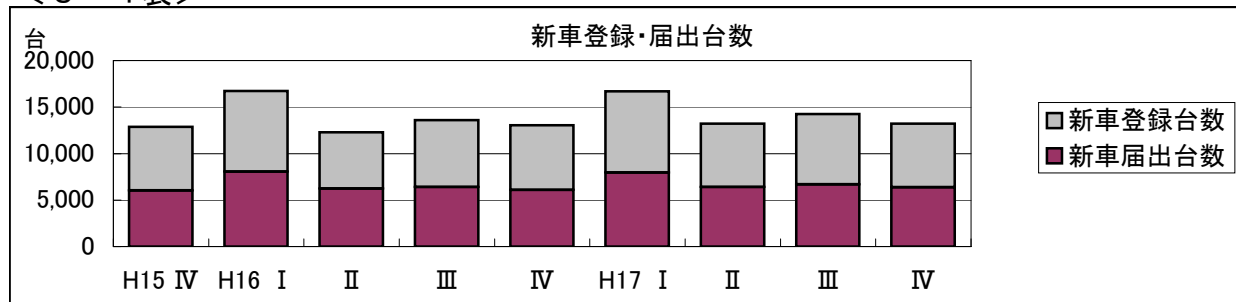
単位：台、%

○新車登録台数は、前年同期を下回った。
新車届出台数は、3期連続で前年同期を上回った。

	新車登録台数		新車届出台数	
		前年同期比		前年同期比
H15 IV	6,827	▲ 10.0	6,038	0.4
H16 I	8,687	▲ 7.5	8,047	7.7
II	6,053	▲ 9.8	6,241	3.1
III	7,196	▲ 7.6	6,401	1.3
IV	6,933	1.6	6,099	1.0
H17 I	8,766	0.9	7,941	▲ 1.3
II	6,800	12.3	6,406	2.6
III	7,581	5.4	6,663	4.1
IV	6,864	▲ 1.0	6,354	4.2

（資料：日本自動車販売協会連合会宮崎県支部）

< 3-4表 >



(5) 航空便利用客数

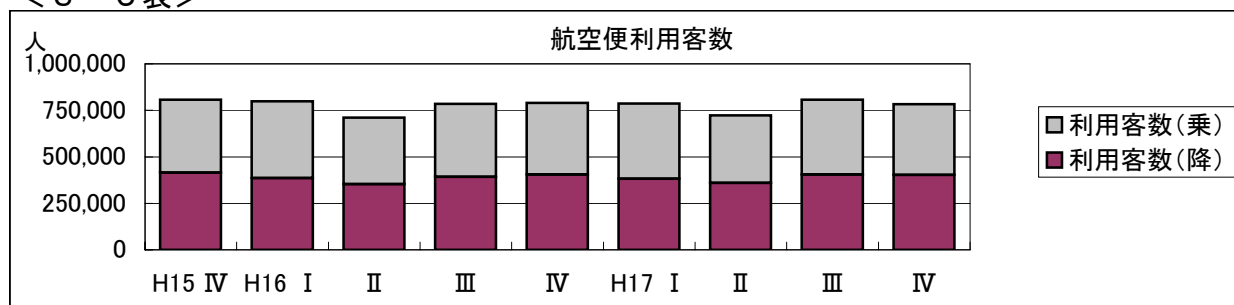
○乗客数は、前年同期を下回った。
降客数は、前年同期をやや
下回った。

単位：人、%

	利用客数（乗）		利用客数（降）	
		前年同期比		前年同期比
H15 IV	392,589	▲ 4.5	414,612	▲ 4.9
H16 I	413,173	▲ 7.6	384,934	▲ 7.9
II	357,792	0.3	352,575	1.0
III	392,474	▲ 7.7	391,823	▲ 7.6
IV	384,371	▲ 2.1	405,069	▲ 2.3
H17 I	404,699	▲ 2.1	381,240	▲ 1.0
II	362,927	1.4	359,531	2.0
III	403,126	2.7	403,737	3.0
IV	379,922	▲ 1.2	403,110	▲ 0.5

(資料：宮崎交通株)

< 3 - 5 表 >



(6) 主要ホテル・旅館宿泊客数

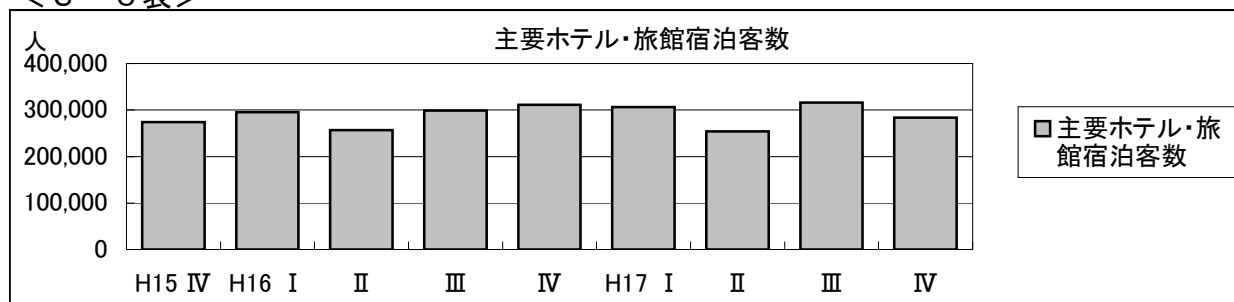
○主要ホテル・旅館宿泊客数は、前年同期を下回った。

単位：人、%

	主要ホテル・旅館宿泊客数	
		前年同期比
H15 IV	273,865	0.6
H16 I	295,512	6.4
II	256,771	12.7
III	298,608	▲ 1.4
IV	311,242	13.6
H17 I	306,581	3.7
II	254,214	▲ 1.0
III	315,820	5.8
IV	283,606	▲ 8.9

(資料：県観光・リゾート課)

< 3 - 6 表 >



(7) 消費者物価指数(平成12年=100)

○総合指数は、3期連続で前年同期を下回った。
生鮮食品を除く総合指数は、3期連続で前年同期をやや下回った。

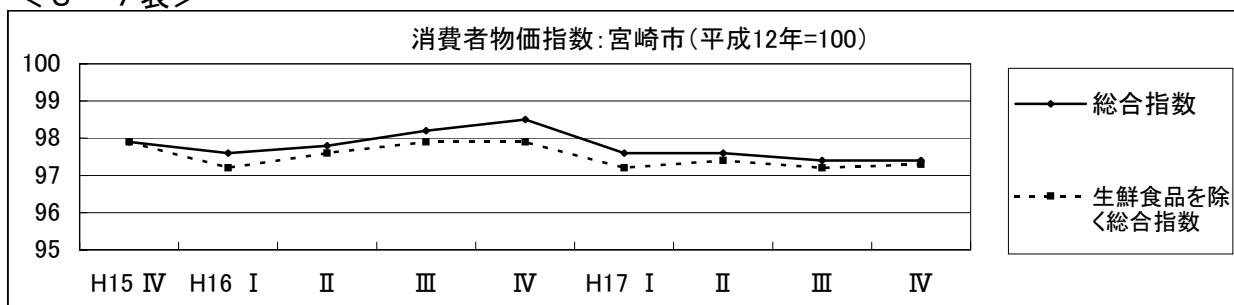
平成12年=100 単位：%

	総合指数		生鮮食品を除く総合指数	
	値	前年同期比	値	前年同期比
H15 IV	97.9	▲ 0.2	97.9	0.1
H16 I	97.6	▲ 0.2	97.2	▲ 0.2
II	97.8	▲ 0.3	97.6	▲ 0.3
III	98.2	▲ 0.3	97.9	▲ 0.2
IV	98.5	0.6	97.9	0.0
H17 I	97.6	0.0	97.2	0.0
II	97.6	▲ 0.2	97.4	▲ 0.2
III	97.4	▲ 0.8	97.2	▲ 0.7
IV	97.4	▲ 1.1	97.3	▲ 0.6

※ 消費者物価指数は、宮崎市の数値である。

(資料：県統計調査課)

< 3-7表 >



雇用・労働関連

(8) 雇用情勢

○有効求人倍率(県)は、前期を上回った。
完全失業率(国)は、前期を上回った。

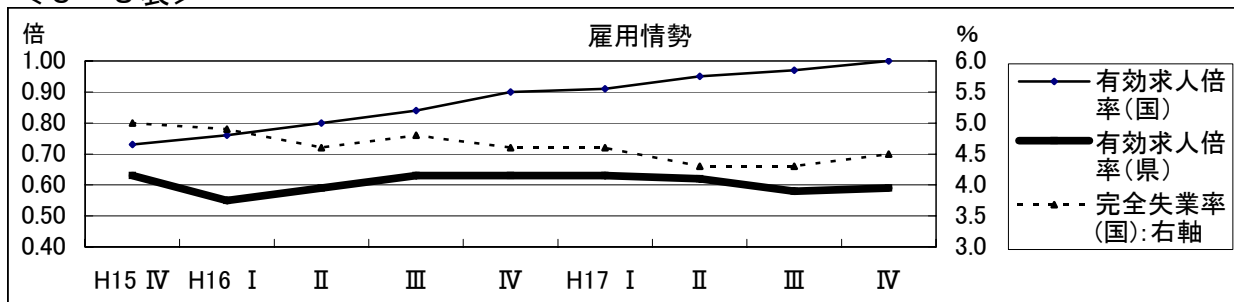
単位：倍、%、ポイント

	有効求人倍率(国)		有効求人倍率(県)		完全失業率(国)	
	値	前期差	値	前期差	値	前期差
H15 IV	0.73	0.08	0.63	0.00	5.0	▲ 0.1
H16 I	0.76	0.03	0.55	▲ 0.08	4.9	▲ 0.1
II	0.80	0.04	0.59	0.04	4.6	▲ 0.3
III	0.84	0.04	0.63	0.04	4.8	0.2
IV	0.90	0.06	0.63	0.00	4.6	▲ 0.2
H17 I	0.91	0.01	0.63	0.00	4.6	0.0
II	0.95	0.04	0.62	▲ 0.01	4.3	▲ 0.3
III	0.97	0.02	0.58	▲ 0.04	4.3	0.0
IV	1.00	0.03	0.59	0.01	4.5	0.2

※ 数値は、季節調整値である。

(資料：総務省、宮崎労働局職業安定部)

< 3-8表 >



(9) 求人状況

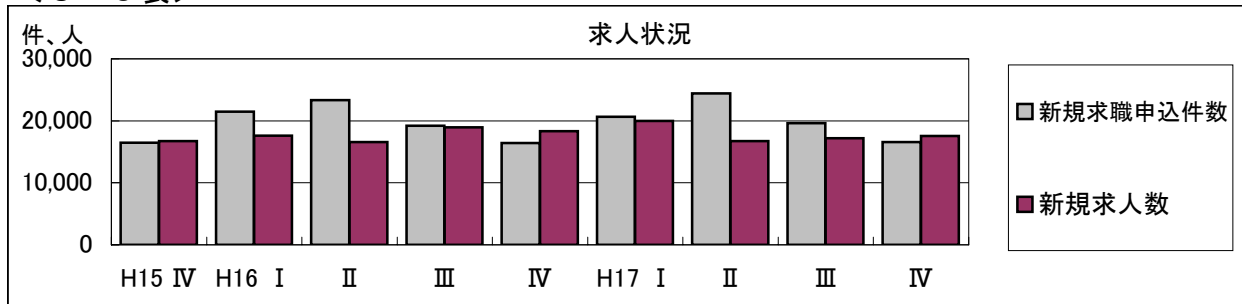
単位：件、人、%

○新規求職申込件数は、前年同期を
やや上回った。
新規求人数は、2期連続で
前年同期を下回った。

	新規求職申込件数		新規求人数	
		前年同期比		前年同期比
H15 IV	16,459	▲ 1.7	16,709	9.0
H16 I	21,478	5.5	17,598	7.2
II	23,348	▲ 6.0	16,595	10.6
III	19,190	▲ 3.3	18,944	11.6
IV	16,445	▲ 0.1	18,312	9.6
H17 I	20,632	▲ 3.9	20,001	13.7
II	24,415	4.6	16,721	0.8
III	19,626	2.3	17,216	▲ 9.1
IV	16,575	0.8	17,557	▲ 4.1

(資料：宮崎労働局職業安定部)

< 3-9表 >



(10) 労働関係指数 (平成12年=100)

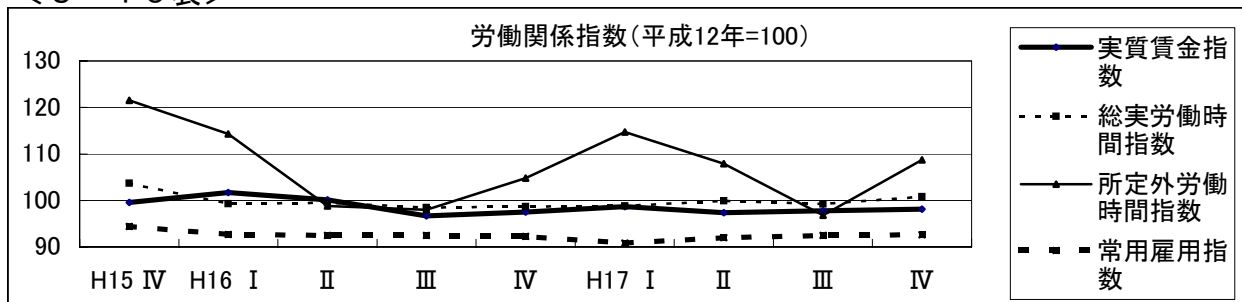
○実質賃金指数 (きまって支給する給与) は、前年同期をやや上回った。
総実労働時間指数は、前年同期を上回った。
所定外労働時間指数は、前年同期を上回った。
常用雇用指数は、前年同期とほぼ横ばいとなった。

平成12年=100 単位：%

	実質賃金指数		総実労働時間指数		所定外労働時間指数		常用雇用指数	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
H15 IV	99.6	▲ 1.6	103.7	0.2	121.5	2.7	94.4	▲ 1.2
H16 I	101.7	▲ 0.4	99.3	▲ 1.5	114.3	▲ 3.0	92.7	▲ 1.6
II	100.1	▲ 1.3	99.5	▲ 5.1	98.8	▲ 12.8	92.5	▲ 1.6
III	96.7	▲ 1.8	98.5	▲ 4.4	98.0	▲ 15.6	92.5	▲ 1.5
IV	97.5	▲ 2.1	98.7	▲ 4.8	104.8	▲ 13.7	92.3	▲ 2.2
H17 I	98.7	▲ 2.9	98.8	▲ 0.5	114.7	0.3	90.8	▲ 2.0
II	97.4	▲ 2.7	99.9	0.4	107.9	9.2	92.0	▲ 0.5
III	97.8	1.1	99.2	0.7	96.8	▲ 1.2	92.5	0.0
IV	98.1	0.6	100.8	2.1	108.7	3.7	92.6	0.3

(資料：県統計調査課)

< 3-10表 >



投資 関 連

(11) 新設住宅着工戸数

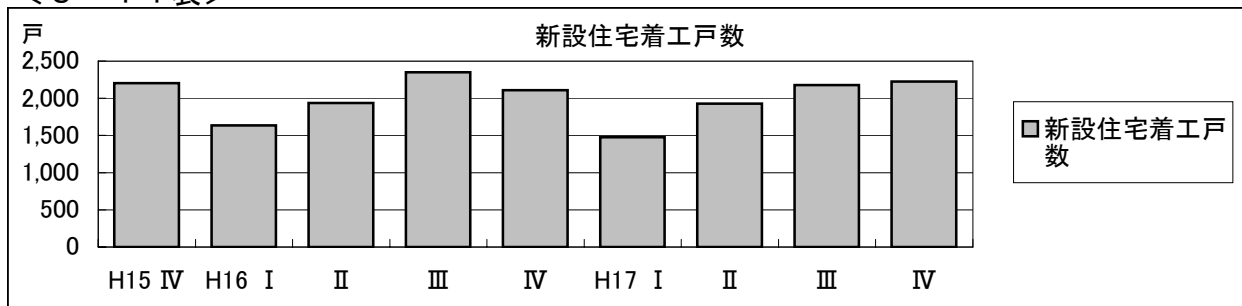
○新設住宅着工戸数は、前年同期を上回った。

単位：戸、%

	新設住宅着工戸数	
	前年同期比	前年同期比
H15 IV	2,203	2.6
H16 I	1,635	▲ 0.2
II	1,938	▲ 3.8
III	2,350	24.3
IV	2,110	▲ 4.2
H17 I	1,478	▲ 9.6
II	1,929	▲ 0.5
III	2,179	▲ 7.3
IV	2,223	5.4

(資料：県建築住宅課)

< 3 - 1 1 表 >



(12) 公共工事請負状況

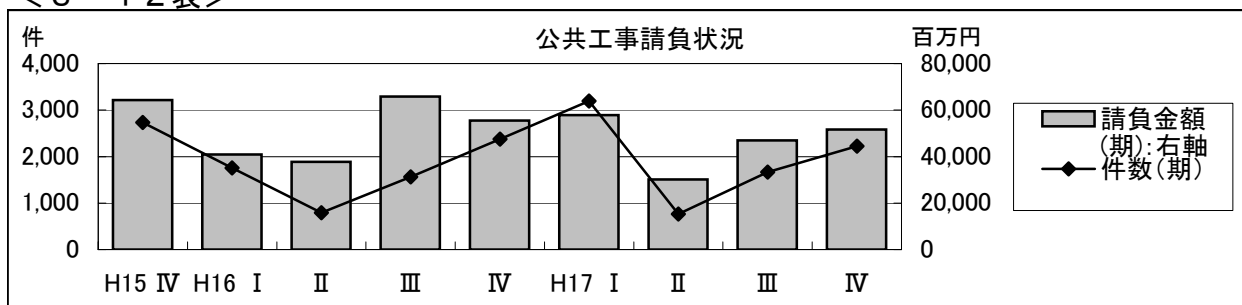
○公共工事請負件数は、当期、年度累計ともに前年同期を下回った。
 公共工事請負金額は、当期、年度累計ともに前年同期を下回った。

単位：件、百万円、%

	件数 (期)		件数 (年度累計)		請負金額 (期)		請負金額 (年度累計)	
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
H15 IV	2,733	4.9	5,208	0.1	64,313	▲ 9.3	165,934	▲ 6.0
H16 I	1,759	▲ 3.6	6,967	▲ 0.8	40,902	▲ 21.1	206,832	▲ 9.5
II	791	4.9	791	4.9	37,752	12.1	37,752	12.1
III	1,564	▲ 9.1	2,355	▲ 4.8	65,843	▲ 3.1	103,596	1.9
IV	2,372	▲ 13.2	4,727	▲ 9.2	55,559	▲ 13.6	159,157	▲ 4.1
H17 I	3,193	81.5	7,920	13.7	57,792	41.3	216,951	4.9
II	762	▲ 3.7	762	▲ 3.7	30,170	▲ 20.1	30,170	▲ 20.1
III	1,665	6.5	2,427	3.1	46,973	▲ 28.7	77,144	▲ 25.5
IV	2,224	▲ 6.2	4,651	▲ 1.6	51,633	▲ 7.1	128,779	▲ 19.1

(資料：西日本建設保証(株)宮崎支店)

< 3 - 1 2 表 >



企業・金融関連

(13) 企業倒産状況（負債総額1千万円以上の法人及び個人企業）

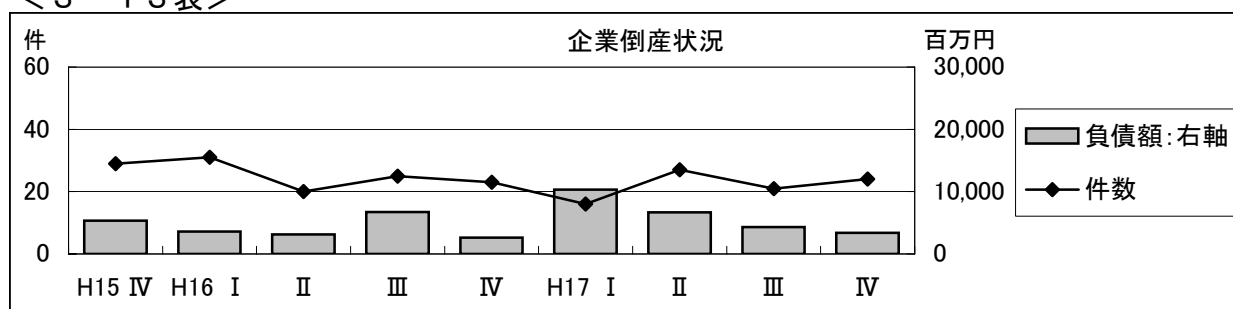
単位：件、百万円、%

○企業倒産件数は、前年同期を上回った。
負債額は、前年同期を大きく上回った。

	件数		負債額	
		前年同期比		前年同期比
H15 IV	29	0.0	5,362	▲ 98.2
H16 I	31	40.9	3,577	▲ 10.3
II	20	▲ 35.5	3,113	▲ 76.3
III	25	▲ 3.8	6,747	▲ 71.5
IV	23	▲ 20.7	2,622	▲ 51.1
H17 I	16	▲ 48.4	10,316	188.4
II	27	35.0	6,661	114.0
III	21	▲ 16.0	4,337	▲ 35.7
IV	24	4.3	3,390	29.3

(資料：東京商工リサーチ)

< 3-13表 >



(14) 金融機関預金残高

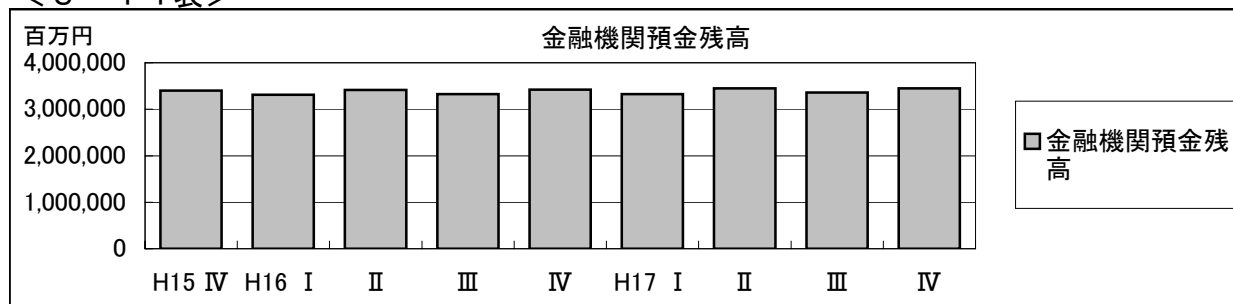
単位：百万円、%

○金融機関預金残高は、前年同期をやや上回った。

	金融機関預金残高	
		前年同期比
H15 IV	3,397,895	0.1
H16 I	3,311,614	0.9
II	3,413,884	▲ 0.9
III	3,327,328	▲ 0.9
IV	3,422,138	0.7
H17 I	3,324,192	0.4
II	3,445,819	0.9
III	3,361,509	1.0
IV	3,450,873	0.8

(資料：日本銀行宮崎事務所)

< 3-14表 >



(15) 金融機関貸出金残高

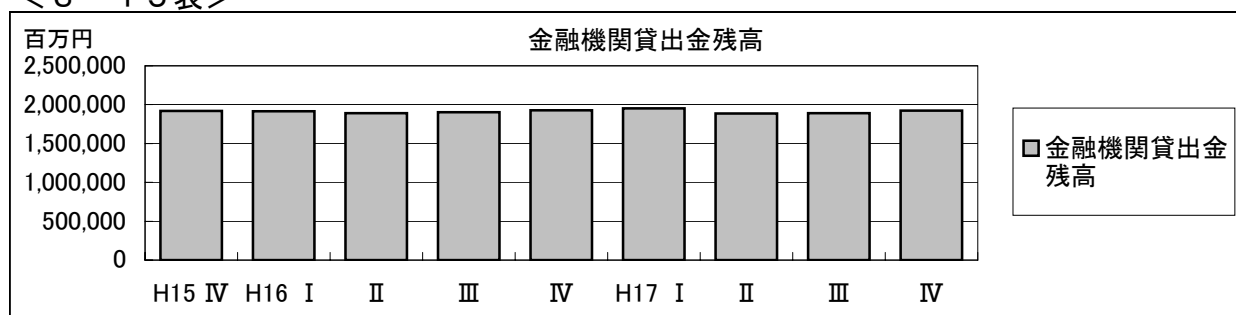
○金融機関貸出残高は、前年同期とほぼ横ばいであった。

単位：百万円、%

	金融機関貸出金残高	
		前年同期比
H15 IV	1,918,781	0.0
H16 I	1,916,942	▲ 0.2
II	1,891,975	1.6
III	1,902,245	0.5
IV	1,926,770	0.4
H17 I	1,950,598	1.8
II	1,885,795	▲ 0.3
III	1,891,760	▲ 0.6
IV	1,923,147	▲ 0.2

(資料：日本銀行宮崎事務所)

< 3 - 15 表 >



景気動向指数

(16) 景気動向指数

○先行指数は、10月に50.0%を上回り、11月に50.0%となった。
 一致指数は、11月、12月に50.0%を上回った。
 遅行指数は、10月から12月に50.0%を上回った。

	先行指数	一致指数	遅行指数
H17 1月	57.1	66.7	60.0
2月	42.9	58.3	40.0
3月	57.1	58.3	80.0
4月	28.6	66.7	70.0
5月	28.6	33.3	60.0
6月	57.1	66.7	20.0
7月	14.3	33.3	20.0
8月	57.1	66.7	60.0
9月	28.6	33.3	40.0
10月	71.4	33.3	80.0
11月	50.0	58.3	80.0
12月	42.9	66.7	60.0

(資料：県統計調査課)

